

審判報告書

公式文書なので鉛筆不可
審判員間で記録を確認

大会名・会場・チーム名は
正式名称で記入

余白は斜線で
表記

前後半合わせた試合時間

競技会名 第〇〇回 全日本少年サッカー大会 東京都大会 第2ブロック予選
試合時間 40分 延長戦 分 会場 江戸川区陸上競技場
対戦 A HOME-FC (組合せの左または上のチーム) 対 B AWAY-FC (組合せの右または下のチーム)
結果 合計 : 得点 (前 : 半) (後 : 半) 延長 (:) (:) PK (5 : 4)
日時 2022年10月20日10時15分キックオフ 予定時間ではなく実際の開始時間
主審 審判 太郎 所属 関東協会 副審1 江戸川 次郎 所属 東京都協会
第4審判 江東 四郎 所属 関東協会 副審2 葛飾 三郎 所属 東京都協会
競技場、用具の状態

1級:日本協会、2級:関東協会、3・4級:東京都協会

競技場 : 全面人工芝 良好、全面天然芝 水溜りあり、全面土 凸凹あり

用具 : 良好 ゴール、ネット、ライン、コーナーフラッグ等に不備があれば処置とともに記入

警告 (競技者・交代要員)

時間	チーム	番号	氏名	理由 ※ () 内に [反/ラ/異/繰/遅/距/入/去] を記入し、具体的事由を記入
1 15	HOME-FC	10	東京 一郎	(ラ) 相手競技者に無謀にスライディングタックルをして倒した
2 HT	AWAY-FC	5	東 健太郎	(異) フィールド外にて主審に対し言葉で試合中の判定に意義を示した
3 37	AWAY-FC	5	東 健太郎	(反) 相手競技者の腕を引っ張り、攻撃のチャンスを妨害した
4 40+1	AWAY-FC	2	南 達也	(繰) 相手競技者を不用意にチャージする、押すなどの反則を繰り返した
5 試合後PK戦	HOME-FC	1	若林 源三	(反) PK戦の際に、ボールが蹴られる前に飛び出し、ゴールにならなかった
6				()
7			フルネーム	()
8				()

開始からの
通算時間
秒数切上

フルネーム

余白は斜線で表記

第12条の競技規則を参照し、正しい用語を使って、
具体的に記入
ファール、退場との違いを明確にする

退場 (競技者・交代要員)

(詳細は重要事項報告書に記入して提出する。但し警告2についてはこの報告書のみでよい)

時間	チーム	番号	氏名	理由 ※ 不正、乱暴、つば、阻(手)、阻止(他)、暴言、警告2
1 37	AWAY-FC	5	東 健太郎	警告(2) 上記2件の警告による
2 39	HOME-FC	4	西 裕次郎	阻止(手) 相手のシュートを手で止めて決定的な得点を阻止した
3				

記入の仕方は警告と同じだが、一発退場の場合は「重要事項報告書」を提出

警告・退場 (チーム役員)

警・退	時間	チーム	役職	氏名	理由 (警告) ※ 反/異/遅、を記入し具体的事由を記入 (退場) ※ 乱暴/つば/暴言/警告2、詳細は重要事項に記入
1 警告	38	AWAY-FC	コーチ	北 二男	(異) 主審の判定に対し、ペットボトルを蹴り意義を示した
2 退場	39	HOME-FC	監督	指導 一男	(暴言) 選手の退場処分に対しテクニカルエリアを出て侮辱的な発言をした
3					

その他の報告事項

直前に行われた試合の終了が延びたため、予定開始時刻より5分遅れて開始された

問題なき場合は、「特になし」と記入
主審の権限が及ばない時間での事象、運営面で問題があった場合、ユニフォーム等の問題等があれば記入

以上の通り報告いたします。2022年10月20日 主審署名 審判 太郎

試合を主催した協会の会長宛に報告

西暦で記入

080-1111-2222

(公財) 東京都サッカー協会会長 殿

自筆で記入。警告・退場等が合った場合は、連絡先も忘れずに

審判報告書（重要事項）

競技会名 第〇〇回 全日本少年サッカー大会 東京都大会 第2ブロック予選

対戦 A HOME-FC 対 B AWAY-FC

日時 2022年10月20日 10時15分キックオフ

退場、その他の重要事項についての詳細

・HOME-FC・西裕次郎選手（背番号4）の退場について。

39分、HOME-FCの西裕次郎選手（背番号4）は、AWAY-FCの東京一郎選手（背番号10）がペナルティエリア付近でGKをかわし、シュートしたボールを手で止めて決定的な得点を阻止した。

この行為により、西裕次郎選手を退場処分とした。

西裕次郎選手は異議を示すことなく速やかにフィールド周辺から離れた。

競技者が補充された後、試合を再開した。

・HOME-FC・指導一男氏（監督）の退場について。

39分、HOME-FCの西裕次郎選手（背番号4）の退場処分に対し、

HOME-FCの指導一男氏（監督）がテクニカルエリアを出て、

「なんで退場なんだ。ふざけんな！ヘタクソ審判」と、侮辱的な発言を強い口調で大きな声で行った。

この行為により、指導一男氏を退場処分とした。

指導一男氏は異議を示しながらも、フィールド周辺から離れた。

以下余白

- ・タイトル
- ・客観的な事象（何分に、どこで、誰が、誰に対して、どういう状況で、どのような行為をしたのか）を詳しく書くこと
- 主審の感情や主観を含めないこと
- ・主審の下した決定

※一発退場以外で重要事項に記入する必要がある事項

- ・主審が懲戒の罰則を運用することのできない時間帯に懲戒罰に相当する行為があった場合
- ・副審や第4の審判員に問題があった場合
- ・その他、競技規則の第5条の主審の「権限」「職権と任務」に問題が生じた場合

以上の通り報告いたします。2022年10月20日 主審署名 審判 太郎

080-1111-2222

《審判報告書：警告事例：参考》

- ・「どういう状況で」、「誰に」、「どうしたか」。
- ・「ラフプレー」は、競技規則では「反スポーツ的行為」の項目に分類されるが、日本協会では独立した警告の項目として扱っている。
「後方から」「遅れて」→（反）、「激しく」「無謀に」→（ラ）

- ・（反）：相手競技者の腕を後方より露骨に引っ張り前進を妨げた。
- ・（反）：ボールを手で扱い利益を得ようとした。
- ・（反）：ドリブルで抜け出る相手選手を故意にトリップして前進を妨げた。
- ・（ラ）：相手選手のドリブルに激しくタックルし、トリップした。
- ・（ラ）：相手のドリブル突破に対して無謀にチャージし相手を倒した。
- ・（異）：主審の判定に対して、ボールを地面にたたきつけて異議を示した。
- ・（距）：相手のFK再開の直前に9.15mの壁から飛び出しキックを妨害した。
- ・（距）：相手のスローインの際に、2m以内に近づきスローインを妨害した。
- ・（遅）：相手のスローインのボールを相手に渡さず持ち去った。
- ・（遅）：ゴールキックの際ボールを何度も置きなおし意図的に再開を遅らせた。

・理由を誤って記入される例

下記のように理由（青字）の誤りや、具体的事由の記入不足で理由が変わってくるので赤字のように具体的に書く事が望ましい。

- ・（距） 相手のFKによる再開をボールの前に立って邪魔した。再開を遅らせた。→（遅）
- ・（反） 相手フリーキック（スローイン）の判定の後ボールを相手に渡さなかった。
渡さず再開を遅らせた。→（遅）
- ・（反） 相手フリーキック（スローイン）の判定の後ボールを蹴った。
蹴り、再開を遅らせた。→（遅）、蹴り、判定に不服な態度を示した。→（異）
- ・（反） 相手FKのボールを投げた。遠方へ投げた再開を遅らせた。→（遅）、
強く地面になげ判定に不服な態度を示した。→（異）
- ・（ラ） 相手のドリブルをタックルして妨害した。無謀にタックルして妨害した。→（ラ）
タックルして、大きなチャンスとなる攻撃を妨害した。→（反）
- ・（ラ） 相手競技者を無謀に押さえた。押さえて、大きなチャンスとなる攻撃を妨害した。→（反）

・「相手競技者を押さえる」「身体的接触によって相手競技者を妨げる」反則には、
「不用意に」「無謀に」「過剰な力」の判断要素は無い。

- ・「不用意」とは、競技者が相手に挑むとき注意や配慮が欠けていると判断される、または、慎重さを欠いてプレーを行うことである。→（反則・懲戒なし）
- ・「無謀」とは、相手競技者が危険にさらされていることを無視して、または、結果的に危険となるプレーを行うことである。→（警告）
- ・「過剰な力」とは、競技者が必要以上の力を用いて相手競技者の安全を危険にさらすことである。→（退場）

間違えやすい重要な判定

相手の大きなチャンスとなる攻撃を妨害、または阻止する為にファウルを犯す。→（警告）
但し、ボールをプレーしようと試みて反則を犯し、主審がPKを与えた場合。→（懲戒なし）

相手競技者の決定的な得点の機会を阻止する為にファウルを犯す。DOGSO →（退場）
但し、ボールをプレーしようと試みて反則を犯し、主審がPKを与えた場合。→（警告）

ハンドの反則により、相手チームの得点、または、決定的な得点の機会を阻止した場合。→（退場）
ハンドの反則により、相手チームの得点、または、決定的な得点の機会を阻止しようと試みて失敗した場合。（得点）→（警告）

2022.03.05

審判員 確認・点検・打ち合わせ 事項

確認事項

競技会規定の確認事項

・ 試合時間（ ）分 試合開始時間（ ） インターバルの時間（ ）分 3 P（ ）
・ 同点の場合の処置（引き分け・延長：時間（ ）分）・PK方式（ ）人（ ）
・ 試合人数（ ）人 登録人数（ ）人 交代人数（自由な交代： ）人 交代ゾーン使用（有・無）
登録選手以外のベンチ入（可・不可）
・ ベンチ入りできるチーム役員の数・資格（2名以上5名以内・D級以上）
・ 交代要員のアップ場所（ベンチ後方： ）方法（ボール使用禁止： ）
・ ハーフタイム時にフィールドでの練習可能チーム（当該チーム・次試合チーム・不可・ ）
・ フィールドの境界線（退場者、退席者の位置： ）観戦場所（ ）
・ マルチボールの使用（する・しない）使用する場合の数（ ）位置（ゴール裏・サイドライン・ ）
・ 担架（有・無）担架要員（有・無）救護師体制（有・無）
・ アディショナルタイムの表示（有・無）
・ 飲水タイム（有・無）クーリングブレイク（有（ ）分）・無（ ）
・ PK方式の手続き（指導者をフィールドに入れない： ）使用ゴール（コイントス： ）
・ 試合開始、終了時のセレモニー（有・無）相手ベンチ挨拶（有・無）
・ 競技者のユニフォームチェックの時間（30分前： ）集合場所（ ）
GK⇄F Pの対応（固有の背番号（要・不要）・シャツのみ（可・不可）： ）
・ 競技者の用具チェックの時間（10分前： ）集合場所（ ）

点検事項

競技場、用具の点検

・ ゴール、ゴールネット
・ 各ライン、各エリア、各マーク
・ ベンチ、テクニカルエリア
・ コーナーフラッグ
・ ボール（空気圧）

打ち合わせ事項

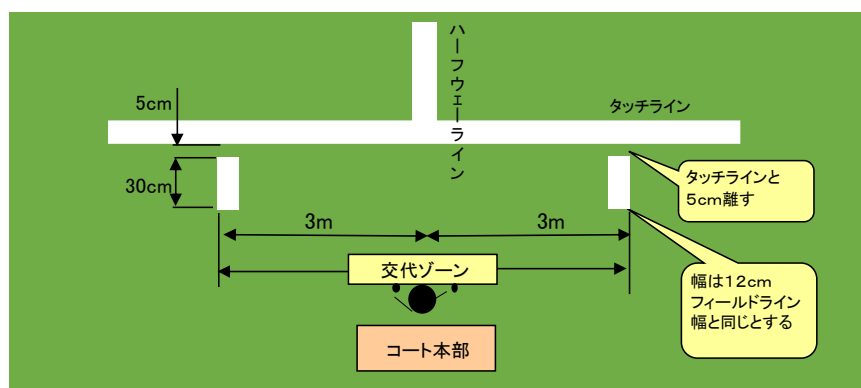
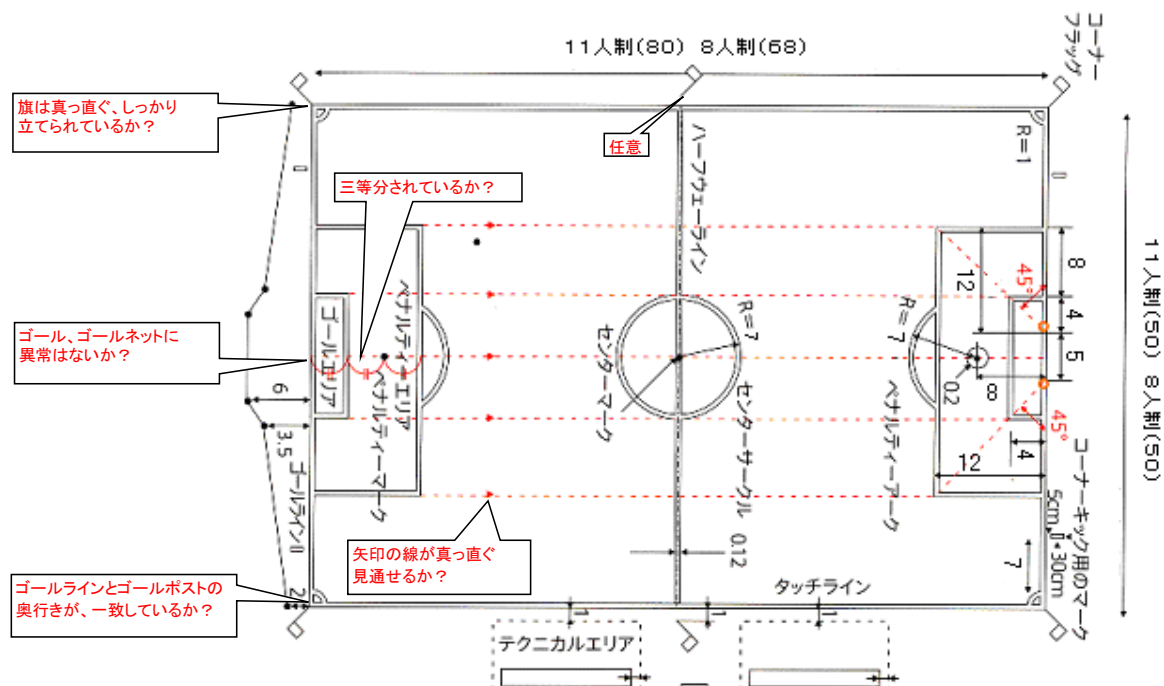
・ 時計の時間合わせ	予定時刻に開始、早くてもNG
・ 主審のとり対角線と副審サイドの確認	
・ 得点の合図（アイコンタクトの後ハーフウエーライン方向に走る・ ）	
きわどい得点時の合図（フラッグアップの後ハーフウエーライン方向に走る・ ）	
得点を認めたくない場合の合図（走らずにその場に立っている・ ）	
・ オフサイドの判定と合図（成立してからフラッグアップ・ ）	
主審が採用しない場合の合図（手の平を向け「降ろして下さい・ ）	
主審が気付かない場合の対応（アウトオブプレー、攻守交代まで降ろさない・ ）	攻撃側チームの再開NG
主審が気付かない場合の合図（声で知らせる・逆副審から伝える・ ）	
・ ボールがピッチより出た場合の合図（明らかな場合は方向のみ指す・ ）	
差し違いの対応（主審優先・明からかに違っている場合は再度上げ直す・ ）	シークレットサイン活用
判断出来ない場合の合図（フラッグアップのみ・ ）	
主審が気付かない場合の合図（声で知らせる・逆副審から伝える・ ）	
・ ゴールキック時の監視、合図（正しくボールがセットされていない場合フラッグアップ・ ）	
・ コーナーキック時の監視、合図（正しくボールがセットされていない場合フラッグアップ・ ）	
・ スローインの時の監視の分担（ポイント・全体・足下・ ）	
レフリーサイドの監視（主審にまかせる・ ）	
・ 副審サイドのファールサポート（フラッグアップし振る・積極的に但し判定基準、アドバンテージを考慮（ ）	主審を見る
ペナルティエリア内の判断（主審にまかせる・絶対という場合はサポート・ ）	
ペナルティエリア内の合図（フラッグアップ・シークレットサイン・コーナーを廻り込む・ ）	
・ 副審サイドのFKに対する壁の対応（声のみ・フィールドに入る・ ）	
フィールドに入る場合の合図（主審が笛での再開を適用している事・主審との連携・ ）	
・ PK（試合中）の場合の役割分担（得点の確認・キッカーフェイント・GK飛び出し・進入・オフサイド・ ）	
PK（PK戦）の場合の役割分担（得点の確認・キッカーフェイント・GK飛び出し・選手管理・ ）	
・ 主審が見えていない場所での重傷者の対応（フラッグアップし直ぐに知らせる・ ）	
主審が見えていない場所での軽傷者の対応（アウトオブプレー時に知らせる・ ）	
フィールドを出たがっている選手の対応（主審に伝える様に促す・ ）	
・ 主審が見えていない場所での重要事項発生時（退場）の合図（直ぐにフラッグアップし事実のみ報告・ ）	
主審が見えていない場所での重要事項発生時（警告）の合図（アウトオブプレー時に事実のみ報告・ ）	
・ 第4の審判員への依頼事項	
・ ベンチコントロール（態度・異議・指示の内容・交代要員の管理・通信機器（ ）	
指示の方法（テクニカルエリア有無により指示出来る場所・指示する役員・ ）	
ベンチ内の役員・交代要員等の警告、退場の合図（注意し繰り返す場合は主審を呼ぶ・ ）	
・ 予備ボールの管理、供給（主審からの依頼により供給・ ）	蹴らない
・ 交代選手の手続きと用具の点検（フィールドに背を向けない事・選手の体に触れない事・ ）	
・ 負傷事故発生時の対応（担架要請の合図・主審の指示により役員2名以内・持ち物は無し・ ）	
・ 競技者の出血から復帰の場合、止血の確認（確認を依頼する・ ）	
・ 用具の不備から復帰の場合、用具の確認（確認を依頼する・ ）	
・ 試合の記録・得点、警告、退場の記入タイミング（全員が同時に行わない事・R、逆副審→副審、4 t h・ ）	
不明確の合図（ ）	Kickoff前、再開前にアイコンタクト
・ 再開方法に誤りがあった場合、副審、第4の審判員の合図（再開前に声でRを呼ぶ・ ）	
・ 2枚目の警告で退場を命じない時の、副審、第4の審判員の合図（再開前に声でRを呼ぶ・ ）	
・ 試合終了前の合図（副審との合図・第4の審判員とアディショナルタイムの合図（1分前）・ ）	
試合終了時の合図（第4の審判員が立つ・ ）	
・ 主審が怪我等で、続行できなくなった場合の対応（第4の審判員→主審・A1→主審・ ）	
・ その他、何かあった場合の合図（声でRを呼ぶ・ ）	

※ 青字は第2ブロックスタンダード

2022.03.05

（公財）東京都サッカー協会 少年サッカー連盟 第2ブロック審判部

少年サッカーピッチサイズ



一般サッカーピッチサイズ

